

羽生市

ぎかいだより

No. 253

発行日 / 2026年(令和8年)2月13日
編集 / 議会広報委員会
発行 / 羽生市議会



はたち
羽生市二十歳の集い(1月11日 対象者500人)

令和7年12月定例会

■一般質問に12人が登壇

令和8年第1回臨時会

■物価高騰対応支援事業を審議
(令和8年1月21日開催)

羽生市議会のホームページを開設しています。

羽生市議会

検索

こちらの二次元コードからでも▶



市政に対する 一般質問

そこが…聞きたい



※一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。
掲載されている二次元コードから、当該議員の動画をご覧いただけます。

一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。
今期定例会では、12月3日、4日、5日の3日間にわたり12人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



中島 直樹 議員



クビアカツヤカミキリによる 桜への被害状況と対策、 対応は

- ・質問 クビアカツヤカミキリによる被害は深刻で、県内45市町村に拡大し、羽生市の桜も甚大な被害を受けている。そこで、次の点を伺う。
 - ① これまでの桜の伐採本数
 - ② 伐採された桜の処理方法
 - ③ 市内の桜の今後
- ・答弁 (経済環境部長)
 - ① クビアカツヤカミキリの被害を確認した平成29年度から令和7年10月までの桜の伐採本数は、合計520本である。
 - ② 比較的小さな樹木は各所管課で伐採を行い、市清掃センターへ搬入し、焼却処分している。また、大きな樹木は業者に委託して伐採を行い、民間のリサイクル施設でチップ化してリサイクル処分している。



クビアカツヤカミキリ
(提供：埼玉県環境科学国際センター)

る。一方、市が管理する公園では、シルバー人材センターに委託し樹木の伐採をした場合、処分業務は別契約となるため、伐採後、一時的に西公園に保管している。市民の安全確保を最優先に考え、まずは伐採を進め周囲に危険が及ばないように対応している。その結果、公園で伐採した桜の本数が多く処分に時間を要

しているが、成虫の拡散を防止するため梅雨時期前にリサイクル処分できるよう努めている。また、他施設においても、施設内で一時的に保管しているが、今年度中に焼却処分する予定である。

③被害を受けた桜は、被害が進行し倒木などの危険性が高まること予測されるため、施設を管理している各所管課の判断で順次伐採を行なっている。伐採後、すでに植替え

を実施した施設や、今後植替えを予定している施設はあるが、現時点において、市全体としての具体的な計画はない。植替えには一定の費用を伴うことから、予算措置に

ついては、各所管課が事業の優先度を踏まえたくえで検討している。今後も、市民にクビアカツヤカミキリ被害の

早期発見・早期防除への協力を引き続きお願いし、地域全体で桜の保護に取り組むとともに、市民の安全確保を最優先に、管理を徹底していきたいと考えている。

その他の質問

庁舎内における政党機関紙の勧誘行為の実態は

議会の詳細は
市議会ホームページ
をどうぞ

羽生市議会の
ライブ中継と録画配信
をしています。

羽生市議会

検索

こちらの二次元コードからも
アクセスできます。



「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに発行しています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、羽生市議会ホームページをご覧ください。
羽生市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、定例会や臨時会の本会議で行われた一般質問や議案質疑の内容、政務活動費の収支報告一覧などを公開しております。また、議会のインターネット中継もご覧いただけますので、是非ご利用ください。



野中 一城 議員



河田市政について

・質問 次の点について何う。

①5期20年間に重点的に取り組んだ施策

②市民意識調査等に関する分析と見解

③次期市長選挙への見解

・答弁 (市長)

①市長就任以来、市民が主役のまちづくりを基本とし、「日

本一魅力ある羽生市を目指す」「単独での自主自律」「観光交流人口100万人を目指す」を掲げ、全力で市政運営に取り組んできた。重点的に取り組んだ主な施策は、企業誘致による雇用創出と定住促進、羽生総合病院の市内存続、農業の経営基盤強化、教育環

境の充実、ごみ処理施設の広域化、内水害対策、観光交流の促進などで、各分野で着実な成果を上げてきた。

②市民意識調査等では、「羽生市が住みよく、住み続けたい」と回答した市民が7割を超え、東洋経済新報社の「住みよさランキング」では県内上位を維持している。生活利便性や自然環境、地域のつながりなどが評価された結果であり、これまでの取り組みの成果であるとともに、「誰もが幸せを感じる、住み続けた



登壇する河田市長

いまち 羽生」の実現に着実に近づいているものと認識している。

③平成18年6月に市長就任以来、「日本一魅力ある羽生市」を目指し、財政健全化をはじめとする諸問題に対し、市民

をはじめ、議員職員が一体となり着実にそして粘り強く、取り組んできた。その結果、一定の成果と将来への道筋を示すことができたものと考えている。そのため、5期20年をひとつの節目と捉え、本任期を最後に市長の任を終える決意を固めた。残る任期においても、「誰もが幸せを感じる、住み続けたいまち 羽生」の実現に向け、全力で職責を果たしていきたい。

その他の質問

・羽生駅西口のトイレ設置は



小林 誠弥 議員



移住・定住者増加に向けた取り組みは

・質問 次の点について何う。

①現在の取り組み状況と情報発信について

②新たな支援制度の導入について

・答弁 (企画財務部長)

①本市では、総合振興計画において将来都市像「誰もが幸せを感じる、住み続けたいま

ち 羽生」を掲げ、移住・定住の促進を他の施策と一体的に推進するべきであるとの考えのもと、4つの取り組みを行なっている。1つ目は、本市の認知度を高める取り組みとして、SNSや動画配信を活用した本市の魅力の発信や、ふるさと納税制度の活用、

ロケーションサービス事業を実施している。2つ目は、本市へ足を運び、交流人口や関係人口の深い関わりを持っていただく取り組みとして、様々なイベントを開催してい

る。3つ目は、移住を促す取り組みとして、相談窓口やイベントでの情報提供、SNS等による情報発信を行なっている。4つ目は、定住促進の取り組みとして、市民ニーズに対応した施策を総合的に展開している。

住・定住に特化した補助制度の導入は検討していない。現時点では、市内企業で働く方に、移住・定住に係る情報を直接発信出来る手法については、事業所への移住促進チラシの配架など、事業者への働きかけを進めていきたい。本市としては、引き続き、これまで取り組んできた様々な施策と移住・定住施策を一体的に展開し、将来都市像の実現に向けた好循環を創出していきたいと考えている。





小野田 和男 議員

企業誘致の取り組みは

・質問 税収の増加や雇用の促進を図るため、企業誘致は非常に重要である。そこで、次の点を伺う。

- ① 過去5年間の企業誘致実績
- ② 企業誘致に向けたPR方法
- ③ 「ワンストップ窓口サービス」の充実について

① 新たに羽生市に竣工した企業数は、令和2年度が7社、令和3年度が6社、令和4年度が6社、令和5年度が8社、令和6年度が5社で、5か年の合計は32社である。

② 本市では、積極的な企業誘致の推進を図るためのPR活動として、主に3つの取り組み

みがある。1つ目は、窓口からの情報発信である。企業誘致推進課の窓口にて企業誘致の取り組みを紹介した「羽生市企業立地ガイド」の冊子やチラシなどを配架している。2つ目は、企業の立地意向や経営課題を把握するため、市内外を問わず、定期的にアンケート調査を実施している。この企業アンケート調査で「直接説明を希望する」と回答をした事業所については、職員が直接訪問し、立地に関する情報交換を行うとともに、本市



羽生市の企業誘致

の立地優位性、交通アクセス、さらには埼玉県補助制度などを紹介し、本市の魅力を直接PRしている。3つ目は、関係機関との連携である。埼玉県企業立地課をはじめ、金融機関、不動産業者、その他

民間企業などと定期的に情報交換を行なっている。

③ 企業誘致を市全体でサポートするため、平成27年度に企業誘致推進課が総合窓口となり「ワンストップ窓口」体制を整備し関係各課と連携し情報共有や調整を行なっている。今後も企業のスピード感に応えるため、サービスの充実に努めていきたいと考えている。

その他の質問

・今後の葛西遊歩道の景観について



増田 敏雄 議員

デジタル地域通貨の導入の可能性は

・質問 スマートフォンなどを利用して電子決済できるデジタル地域通貨は、全国120か所以上の地域で導入されている。そこで、本市のデジタル地域通貨の導入の可能性について伺う。

・答弁 (経済環境部長) デジタル地域通貨の導入に

ついては、2つの役割が期待できると認識している。1つ目は、市内の店舗での消費喚起や、キャッシュレス決済による市民や利用事業者に対する利便性の向上など、地域経済を活性化させる「マネー型」としての役割である。2つ目は、地域加盟店での地域通貨

の使用や、健康増進活動、ボランティア活動などへの参加に際して、地域通貨として使える行政ポイントが付与され、行政目的の達成にも活用できる「ポイント型」として



の役割である。これら2つの機能が連携することで、市全体の活性化につながると考えている。一方、デジタル地域通貨を導入するには、多額のシステム導入費用やランニングコストがかかるため、費用対効果や持続性を考慮すると利用者や加盟する事業者の数を一定数以上確保する必要がある。また、市民の中にはデジタル機器の操作に不慣れな方もいるため市民のデジタル対応力強化への取り組みや、デジタル化に伴うセキュリティ

の役割である。これら2つの機能が連携することで、市全体の活性化につながると考えている。一方、デジタル地域通貨を導入するには、多額のシステム導入費用やランニングコストがかかるため、費用対効果や持続性を考慮すると利用者や加盟する事業者の数を一定数以上確保する必要がある。また、市民の中にはデジタル機器の操作に不慣れな方もいるため市民のデジタル対応力強化への取り組みや、デジタル化に伴うセキュリティ

その他の質問

・小学校1年生でのプレクラス導入の可能性は
・小中学校の学校給食費の公費負担は



昆 佳子 議員



介護事業所有償ボランティア マッチングサービスを

・質問 介護の現場では、介護人材の不足により、長時間労働や業務負担が増加している。そのため、介護の資格や経験はないが介護に関心がある地域住民と介護施設をマッチングする取り組みが全国の自治体で始まっている。そこで、次の点を伺う。

①羽生市における介護人材の現状と課題

②介護事業所有償ボランティア マッチングサービスの導入についての見解

・答弁 (健康福祉部長)

①令和5年7月に実施した市内介護サービス提供事業者に対するアンケート調査では、

「職員が不足している」が65・7%、「介護職員の採用が困難」が59・4%であった。本市においても介護人材が不足している状況であり、介護人材の確保が課題であるため、人材確保及び人材定着のための支援を進めていく必要があると認識している。

る取り組みであると認識している。また、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活をおくれるようにするための「地域包括ケアシステム」を推進するうえで、介



護人材の確保は必要である。本市では、来年度「第10期羽生市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を策定するにあたり、市内介護事業所からの意見を伺い、有償ボランティアアママッチングサービスも含めた他自治体の取り組みを参考に、本市の実情に応じた介護人材の確保に関する方針を計画に位置付け、施策を展開していきたいと考えている。

その他の質問

・0歳児から2歳児の子育て負担軽減を



川田 真也 議員



文化財やアニメ等を活用した観光施策を

・質問 次の点について伺う。
①文化財の観光資源としての活用

②映画・アニメ等の「聖地巡礼」を活用した観光振興

③文化財とポップカルチャーを組み合わせた横断的施策

・答弁 (経済環境部長)

①本市には合計77件の文化財

が登録されており、観光資源としても大きな可能性を持っている。これまでも羽生市観光協会では、「羽生タイムスリップまち歩きツアー」などを開催し、文化財等の紹介に努めてきた。今後は、新たに

「富田家住宅離れ」なども取

り上げたモデルコースの設定も検討していきたい。
②「聖地巡礼」については、SNSを活用した情報発信の強化に加え、「魔法少女まどか☆マギカ」「宇宙よりも遠い場



国登録有形文化財「富田家住宅離れ」(提供:一般社団法人とみ田や)

所」「秒速5センチメートル」といった作品と地域資源の親和性を丁寧に整理していきたい。そのうえで、作品の権利者との連携やファン向けの企画にも積極的に協力し、著作権と文化財保護の両立を図りながら、観光振興につなげていきたいと考えている。

③「富田家住宅離れ」を拠点とした活用については、運営している関係法人との連携が前提ではあるが、和の空間をいかした製作関係者によるトークイベントや、既存のま

ち歩きルートとの連携など、市内の回遊性や魅力発信力の向上が期待できるものと考えている。一方で、アニメやゲームなどのポップカルチャーを活用する際には、著作権等の権利処理が不可欠であり、権利者との合意の範囲内で実施する必要がある。文化財の活用にあたっては、歴史的空間や景観を損なわないことが前提であり、観光効果と文化財保全について、市教育委員会とも連携し、十分に検証しながら進めていきたい。



田口 たくし
さとの 議員

羽生市の犯罪対策は

・質問 次の点について伺う。

- ①羽生市の犯罪の傾向と分析
- ②犯罪防止に向けた取り組み

・答弁 (総務部長)

①本市における犯罪の傾向は、凶悪な犯罪は近隣市に比べ少ない反面、窃盗の割合が非常に高く、令和6年は認知件数597件のうち500件が窃

盗であった。最も多い窃盗の種類は、住宅などの敷地内に置いてあるタイヤや電動工具などの盗難事案、次いで万引き、自転車盗である。行田市、加須市においても「住宅敷地内の盗難事案」の発生が最も多く、令和6年刑法犯認知件数に占める割合は25%前後で、

本市と同程度である。一方、「万引き」は、行田市8.9%、加須市12.3%であるのに対し、本市は21.1%と高くなっている。本市で「万引き」が多い要因としては、大型商業施設等が数多く立地するなど、買い物等に係る流入人口が非常に多いことが関係している可能性が高いと分析している。

②ソフト面の主な取り組みは、「羽生市防犯のまちづくり推進協議会」を組織し、警察などの関係機関と連携を図り、防犯パトロールなどを継続的に



実施している。また、警察OBを防犯指導員として配置し、市内パトロールなどを行っている。そのほか、防災行政無線等を活用した注意喚起や

防犯キャンペーンなど、様々な機会を通じて市民の防犯意識の向上に取り組んでいる。ハード面では、羽生駅周辺および学校等に防犯カメラの設置やLED防犯灯の増設を進めている。今後は、これまでの取り組みを継続しつつ、市民が多く集まる機会での啓発活動など、警察や関係団体、市民との連携を一層密にし、地域ぐるみで犯罪を防ぐ体制づくりに取り組んでいきたい。

その他の質問

・市内に出没する大型獣対策は



にしやま ふみやす
文由 議員

不登校児童・生徒への対応は

・質問 次の点について伺う。

- ①不登校児童・生徒の現状
- ②不登校への対応・支援
- ③今後の不登校対策の取り組み

・答弁 (学校教育部長)

①令和7年度の7月末までの不登校児童・生徒数は、小学校27名で1.17%、中学校41名で3.47%である。不登校

の状況は、1年間ほとんど出席ができない児童・生徒、断続的に30日以上欠席している児童・生徒など様々である。要因としては、「調子が悪くて朝起きられない」「人と関わるのが苦手」「勉強が不安」などの理由が多い。不登校から復帰した児童・生徒数

は、復帰に関する目標や段階が様々であるため、正確に把握できていない状況である。

②登校して活動ができる別室の用意、教材や課題の用意と配付、放課後の補習やオンライン学習の対応などを行なっ

不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因や背景により、登校しない、あるいは登校したくともできない状況にあるため、年間30日以上欠席した者(病気や経済的な理由による者を除く)

ている。保護者との連携では、家庭訪問、欠席時における電話やリーバーによる連絡、関係機関の紹介や調整などを行なっている。さらに、担任や養護教諭、教育相談主任や管理職など様々な教員が組織的に対応・支援にあたり、情報共有や相談体制の構築、今後の支援を検討するための会議の実施など、その児童・生徒の状態や保護者の意向を踏まえ、段階的に個々に合わせた対応や支援を行なっている。

③市教育委員会では、羽生市

教育支援センターにおいて個別学習、体験学習、進路相談等を児童・生徒一人一人に寄り添いながら実施している。また、各学校では、余裕教室、相談室、保健室等を活用し、学習支援や教育相談を行なっており、校内教育支援センターを整備している中学校もある。校内教育支援センターは不登校の児童・生徒の学びの場や居場所づくりとして有効であるため、今後、さらに充実していくことを検討している。



齋藤 万紀子 議員

羽生市の課題と まちづくりビジョンは

・質問 河田市政のもと、企業誘致などの成果を上げる一方、社会の変化で課題も生じている。特に、子どもの数の減少などの課題は、羽生市として市民と共有する必要がある。そこで、次の点を伺う。

- ①市長が考える現在の課題
- ②少子高齢化と人口減少対策

・答弁(市長)

①現在、国内においては、人口減少による労働力不足や物価高騰、自然災害の激甚化など、広範多岐にわたる多くの課題に直面している。その上で、先行きを見据えながら、市民が安全・安心に暮らし続けることができるよう、持続

的な発展を目指していかなければならないと考えている。そのような中、私が考える現在の課題の主なものは次の5点である。(1)子育て支援の拡充、(2)公共施設統廃合の推進、(3)集中豪雨や台風による内水害対策の推進、(4)羽生駅東口周辺市街地の再生、(5)行政のデジタル化である。

②本市の現在の高齢化率は31・31%、出産や子育ての中心となる20歳から39歳の若年人口は総人口の約21%である。この状況を踏まえ、少子

高齢化と人口減少に対し、「子育て・出産支援」「企業誘致による雇用創出」「若年層の定住・移住促進」「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」「中心市街地と郊外を結ぶ交通手段確保」など、それぞれ

の施策を総合的に展開していく必要性を強く感じている。今後は、人口減少を「地域の再構築の契機」として発想の転換を図ることで、コンパクトシティの推進やこれまでにない新たな施策の創設につなげていかなければならないと考えている。一方、人口の社会増に向けた取り組みは、現状の取り組みをさらに充実させていく必要があると認識している。

・その他の質問
来年度の予算編成は



柳沢 暁 議員

ひきこもり等の支援は

・質問 内閣府調査によると、「ひきこもり」当事者は全国で約146万人と推計されている。そこで、次の点を伺う。

- ①これまでの支援
- ②秋田県藤里町の取り組みに対する見解
- ③課題と今後の支援

①本市では社会福祉課にひきこもり支援に関する相談窓口を設け、相談があった場合は、どのような支援が必要かなどを丁寧に聴いたうえで、関係各課と連携、情報共有を行い様々な支援につなげている。

②秋田県藤里町では、町の社会福祉協議会において、全世

帯への訪問によるひきこもりの実態調査を行い、その結果に基づき拠点施設「こみっと」を中心に、社会参加へのきっかけづくりや就労訓練などを行い、ひきこもり解消へつな

げたものと理解している。しかし、本市と藤里町では人口規模が異なり、同様の訪問による調査や情報提供等を行う場合、相当な人員が必要となり、現状の体制では難しいと考えている。

相談を行なっていく必要があることなどがある。ひきこもり支援は、本人やその家族の尊厳を守り、寄り添いながら丁寧な相談支援を提供すること、本人やその家族のペースに合わせた伴走型の支援を行い、関わり続けることが大切である。今後は、市や県の相談窓口についてさらに周知を図るとともに、国・県の動向や先進事例を参考に、支援策を研究していきたい。

・その他の質問
物価高に対する支援は



羽生市のひきこもり
支援の相談窓口





島村 勉 議員



公共施設のトイレ洋式化を

・質問 次の点について伺う。

①学校のトイレ洋式化についての市教育委員会の見解

②学校以外の公共施設のトイレ洋式化についての市の見解

・答弁 ①学校教育部長、②企画財務部長

①令和7年4月1日現在、市内小中学校の洋式トイレ設置率は約55%である。県平均が約73%であることから低い水準にあると捉えている。なお、国では、全国の公立小中学校におけるトイレ洋式化率について、令和7年度の目標を95%としている。市教育委員会としては、大規模改修工事にあわせたトイレ整備や、洋式化率の低い学校から個別に洋式トイレへの改修工事を進めている。洋式化率の具体的な目標値は定めていないが、引き続き学校や児童生徒のニーズの把握に努めながら、国が掲げる洋式化率を一つの指標として、整備を進めてい

きたいと考えている。トイレ環境の改善は、喫緊の課題であると認識しており、限られた予算の範囲内ではあるが、可能な限り早急に改修ができるよう取り組んでいきたい。

②現在、小中学校以外の公共施設の洋式トイレ設置率は65.6%である。市としては、各家庭における洋式トイレの普及状況や高齢者等への配慮などの観点から、洋式化を進めていく必要があると考えている。また、洋式化については、避難所に指定されている施設や、施設におけるトイレの洋式化率が低く高



齢者等が多く利用する施設、

そして、羽生市公共施設等総合管理計画やその他の市の計画方針において継続利用が見込まれる施設を優先的に整備していく必要があると考えている。さらに、国や県の補助金を有効に活用するほか、施設の大規模改修等と併せて実施するなど、整備費用の節減に取り組む必要があると考えている。

埼玉県都市ポートレース 企業団議会議員の選挙

埼玉県都市ポートレース企業団議会議員の任期が、令和7年12月31日をもって満了になるため、12月定例会において選挙を行いました。その結果、指名推薦により、丑久保恒行議長が当選しました。

羽生市を含む県内15市で構成する埼玉県都市ポートレース企業団の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。令和6年度は、7,000万円の交付金がありました。

市議会出前講座を実施

令和8年1月に、市内三中学校の2年生を対象に、市議会出前講座を実施しました。

講座では、議員が講師を務め、市議会の仕組みや役割、政治に関心を持ってもらうことなどの説明とともに、事前アンケートに関する回答を行いました。

事前アンケートでは、生徒から「議員報酬はいくらか?」「議員はどんな仕事をしているのか?」などの質問が寄せられ、わかりやすく丁寧に回答いたしました。



出前講座の様子 (東中学校)

傍聴について

本会議は、市役所5階で受付をいただければ、どなたでも傍聴(48席)できます。

また、常任委員会(午前9時30分開会)の傍聴(6席)も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、開会前にお越しください。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。 048(561) 1121 (内線) 513



本会議場の傍聴席

令和7年12月定例会・令和8年第1回臨時会にて 令和7年度一般会計補正予算など

議案20件を審議

主な議案の提案内容は次のとおりです。
※審議結果は11ページをご覧ください。



市長提出議案

■12月定例会

○議案第62号 令和7年度羽生市一般会計補正予算(第7号)

○議案第63号 令和7年度羽生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

○議案第64号 令和7年度羽生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

○議案第73号 羽生市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第74号 羽生市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

○議案第75号 羽生市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

これらの6議案は、人事院勧告等により、議員並びに市長、副市長及び教育長の期末手当の改定、並びに市職員のみ期末勤勉手当の改定及び月例級の引き上げを行うものです。

○議案第65号 令和7年度羽生市一般会計補正予算(第8号)

令和6年度の社会保障関

係補助金等の額が確定したことに伴う余剰金の返還、ふるさと応援寄附金増額等のため、2億7,499万8千円の増額補正をするものです。

○議案第66号 令和7年度羽生市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

子ども・子育て支援金制度に対応するためのシステム改修を行うため、1,342万円の増額補正をするものです。

○議案第67号 令和7年度羽生市介護保険特別会計補正予算(第2号)

介護給付費負担金等償還金及び介護保険システムの改修のため、5,197万6千円の増額補正をするものです。

○議案第68号 令和7年度羽生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

医療給付経費精算還付金及び子ども・子育て支援金制度に対応するためのシステム改修を行うため、3,200万4千円の増額補正をするものです。

○議案第71号 羽生市職員勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

人事院規則の改正に伴い、妊娠・出産時や育児期の職員が柔軟な働き方ができるように支援するための規定を追加するものです。

○議案第72号 羽生市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の育児休業法の改正に伴い、子の年齢に応じて柔軟な働き方が可能となるよう、部分休業の規定を改めるものです。

○議案第78号 令和7年度羽生市一般会計補正予算(第9号)

○議案第79号 令和7年度羽生市水道事業会計補正予算(第2号)

議案第78号及び同第79号は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した生活者及び子育て世帯への支援事業を実施するため、増額補正をするものです。

・水道基本料免除事業

(7,173万2千円)

水道基本料金を2か月分免除します。

・学校給食費保護者負担軽減事業 (2,837万3千円)

学校給食費を2か月分無償

化します。

・物価高対応子育て応援手当事業 (1億6,374万4千円)

子ども(0歳から高校3年生まで)1人あたり2万円の手当を支給します。

■第1回臨時会

○議案第1号 令和7年度羽生市一般会計補正予算(第10号)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した支援事業を実施するため、4億2,308万6千円の増額補正をするものです。

・羽生市生活応援商品券配布事業 (4億718万9千円)

食料品の物価高騰による家計の負担を軽減するため、市民1人あたり7千円の商品券を配布します。

・住宅用防犯対策補助事業 (150万円)

・民間保育所等物価高騰対策運営支援事業 (409万7千円)

・フードパントリー事業等補助事業 (30万円)

・省エネ家電買換促進補助事業 (1,000万円)

議員提出議案

○議案第3号議案 埼玉県立高等学校男女別学校において生徒の意見に基づく方針決定を求める意見書

埼玉県教育委員会は、「埼玉県立高校において、共学化が早期に実現されるべきである」との趣旨の勧告を受け、「男女共同参画社会の中において、高校の3年間で男女が互いに協力して学校生活を送ることには意義があり、主体的に共学化を推進していくこと」としたうえで、県民の意見を丁寧に把握する必要があるため、アンケートや意見交換などを実施するとしています。

よって、埼玉県及び埼玉県教育委員会に対し、在校生及び進学を目指す生徒の気持ちも十分尊重し、男女別学の埼玉県立高等学校において当事者の意見に十分配慮した方針決定を行うことを求めるため、地方自治法の規定により意見書を提出するものです。

●意見書は賛成全員で可決

本意見書は、埼玉県知事及び埼玉県教育委員会教育長に提出いたしました。

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について質疑を行い、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。

今期定例会の主な議案質疑は次のとおりです。



○議案第65号 令和7年度羽生市一般会計補正予算(第8号)

小学校プール施設循環浄化装置交換工事

(1, 130万円)

老朽化した小学校プール施設の循環浄化装置の交換工事を行うものです。

質疑(川田真也議員)

再編成予定の学校も工事対象となっているが、民間委託や他校利用は行わないのか。

答弁(学校教育部長)

民間委託に要する経費とプール改修工事に係る経費及び再編成予定までに想定される維持管理経費を比較した上で、改修工事の実施が適切であると判断した。また、他校利用については、受入れ先の学校との授業調整などの課題や、バスの確保が困難であるため、今回は見合わせた。

○議案第69号 令和7年度羽生市水道事業会計補正予算(第1号)

第1浄水場の施設不具合により、一時的に県水受水量を増量したため、県水受水費を2,500万9千円増額補正するものです。

質疑(田口さとる議員)

県水を購入するに至った経緯について。

答弁(まちづくり部長)

第1浄水場の「ろ過ポンプ」が、令和7年4月に故障したことから、当該施設からの市内への配水を一時停止し修繕工事を行なった。また、コンクリート製の配水池の躯体にも一部劣化が見えられ、防水処理の修繕工事を行う必要が生じた。そのため、市内の水需要が高まる夏場を中心に、市内全域に配水する総量の不足が見込まれることから、県

水を増量して購入するに至ったものである。なお、第1浄水場の防水修繕工事が完了となる令和8年1月中旬には、配水が再開できる見通しである。

○議案第70号 羽生市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法の改正に伴い、乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を令和8年4月1日から実施するため、必要な事項を定めるものです。

質疑(斎藤万紀子議員)

羽生市乳児等通園支援事業の概要と周知方法について。

答弁(健康福祉部長)

当該事業は、保育所等を利用していない生後6か月から3歳未満の子どもを対象に、月10時間まで、保護者の就労要件にかかわらず保育所等を利用できる制度である。利用方法は、国が提供する「こども誰でも通園制度総合支援システム」により、スマートフォンなどから利用者登録及び利用予約などを行ない利用する。また、利用料は1時間当たり300円程度を予定している。

周知については、羽生市ホームページ、広報はにゅう、子育てアプリ等により行う予定である。

○議案第77号 羽生勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定について

羽生勤労者総合福祉センターの令和8年度以降5年間の指定管理者に、毎日興業株式会社を指定するものです。

質疑(中島直樹議員)

管理運営業務について、変更や追加等はあるのか。

答弁(経済環境部長)

令和8年4月から、利用料金制の導入に伴い指定管理者は利用料金を自らの収入として収受することになる。また、物品等の販売行為や入場料の徴収などの商行為が可能となり、使用許可等に関する業務内容に変更が生じる。

追加する業務は、①施設の利用促進を図るための「情報発信」、②災害時に迅速かつ的確に対応するための「定期的な訓練の実施」、③本市の伝統工芸である藍染の振興を図るため「藍の栽培と藍染体験事業の実施」である。

12月定例会 審議案件と結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

新令和会…新令和 瑞藤会…瑞藤 公明党…公明 日本共産党…共産 無党派…無派 【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

Table with columns for 議案番号, 議案名, and 13 individual members (小林誠弥, 小野田和男, 西山丈由, 増田敏雄, 松本敏夫, 丑久保恒行, 川田真也, 田口さとる, 昆佳子, 野中一城, 柳沢暁, 島村勉, 中島直樹, 齋藤万紀子) and a final column for 審議結果.

議員提出議案

Table row for 議案第3号: 埼玉県立高等学校男女別学校において生徒の意見に基づく方針決定を求める意見書. Includes voting results for each member and the final decision: 原案可決.

※議長は表決に加わりません。

市長提出議案

Table with 18 rows of 市長提出議案 (第62号 to 第79号) including budget and ordinance amendments. Includes a vertical note: ※議長は表決に加わりません。 and voting results for each member.

令和8年第1回臨時会 審議案件と結果

新令和会…新令和 瑞藤会…瑞藤 公明党…公明 日本共産党…共産 無党派…無派 【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

Table with columns for 議案番号, 議案名, and 13 individual members (小林誠弥, 小野田和男, 西山丈由, 増田敏雄, 松本敏夫, 丑久保恒行, 川田真也, 田口さとる, 昆佳子, 野中一城, 柳沢暁, 島村勉, 中島直樹, 齋藤万紀子) and a final column for 審議結果.

市長提出議案

Table row for 第1号: 令和7年度羽生市一般会計補正予算(第10号). Includes voting results for each member and the final decision: 原案可決.

※議長は表決に加わりません。

常任委員会の審査概要

総務文教委員会

議案4件 可決

○議案第65号 令和7年度羽生市一般会計補正予算第8号

問 羽生勤労者総合福祉センター指定管理の債務負担行為の設定について、指定管理料が、指定期間である令和8年度から令和12年度までの5年間、毎年微増する根拠は。

答 指定管理料については、人件費の上昇や管理運営経費に係る光熱費等の増加を踏まえ、毎年度約1.7%の増加を見込んだためである。

問 ふるさと応援寄附金が当初想定より増加している主な要因は。

答 ふるさと納税制度の改正により、仲介サイトを通じたポイント付与が9月末で終了したことによる駆け込み寄附の増加に加え、羽生市の返礼品目数の種類が令和6年度の887件から1,120件に拡充したことが主な要因と捉えている。

都市民生委員会

議案7件 可決

○議案第70号 羽生市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 乳児等通園支援事業の内容と一時預かり事業との違いは。

答 乳児等通園支援事業は、保護者の就労の有無や利用目的を問わず、保育施設に通っていない生後6か月から3歳未満の子どもを対象に月10時間を上限に保育施設を利用できる制度で、本市では令和8年4月から、いわせ保育所で事業実施が予定されている。通園による様々な経験を通じて、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備することが主な目的である。一方、一時預かり事業は、疾病や冠婚葬祭などの保護者の事由により家庭での保育が一次的に困難な場合に保育サービスを提供することを目的としている。

次回

3月定例会の日程 (予定)

会期日程は2月19日(木)に開催予定の議会運営委員会で決まりますので変更になる場合もあります。

日	月	火	水	木	金	土
2/22	23 天皇誕生日	24 本会議 (開会日)	25 休会	26 休会	27 休会	28 休会
3/1 休会	2 休会	3 本会議 (議案質疑)	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 休会
8 休会	9 常任委員会	10 常任委員会	11 常任委員会	12 常任委員会	13 休会	14 休会
15 休会	16 休会	17 休会	18 休会	19 本会議 (閉会日)	20	21

本会議・各常任委員会は9時30分から開会します。
本会議の傍聴は市役所5階で、常任委員会の傍聴は市役所4階で受付しています。
なお、委員会開会後の入退室は、休憩中をお願いします。
本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。



ご意見などを
議会広報委員会まで
☎048(561)1121
(内線)513

《議会広報委員会》
委員長 丑久保 恒行
副委員長 野中 一城
委員 西山 文由
委員 田口 さとる
委員 中島 直樹

12月定例会傍聴者数
・本会議
11月25日・・・0人
12月3日・・・37人
4日・・・8人
5日・・・19人
12日・・・0人
計 64人でした。
・常任委員会
12月8日・・・4人
第1回臨時会傍聴者数
1月21日・・・0人